

## 文化・芸術

### 《名画の扉》

大川美術館特集展示から

Y市とは、横浜市の、ている黒い人影が描き  
ことです。松本竣介は、込まれています。横浜  
小さな手製のスケッチの街で見つけた鉄骨と  
帳を手に、自宅のあつ橋、川への竣介の興味  
た下落合から、時には深いまなざしとも  
横浜まで足を延ばしスに、戦争という時代が  
ケッチしてました。まどつていた寂寥感、  
本作は、横浜駅の近く抑圧感すらも伝わって  
を流れる新田間川(あきます。1945年5  
らたまがわ)に架かる月には、横浜大空襲に  
月見橋(つきみはし)をよって横浜駅周辺は焦  
描いたものです。竣介土と化し、月見橋も破  
は繰り返すこのモチーフ壊されました。  
フを描き、本作と同じ 8日からはじまった  
タイトルの作品が多数 企画展「松本竣介 街  
残されています。 歩きの間」のメイン  
橋の向こう側には、 イメージにもなってい  
鉄道の線路をまたぐ跨る本作は、松本竣介の  
線橋が描かれ、その鉄 アトリエ再見展示とと  
骨が複雑に入り組んだ もにご覧いただけま  
隙間に、橋の上に立つす。

(池田)

### 「Y市の橋」

1944年(左)、油彩・カンバス  
65・0cm×80・5cm(個人蔵)

松本竣介 (1902~95年)

